

コウノトリ文化館入館者の推移等について

平成12年6月に開館したコウノトリ文化館の入館者は、今年7月17日に200万人となった。

入館者200万人達成を機に、入館者の推移等を分析した。

1. 入館者の数等

(1) 案内希望者の増加

職員による入館者への案内説明件数は、平成15・16年度は900件未満であったが、平成17年度の放鳥以後急増しており、平成18・19年度は3,000件を超えている。

(2) 入館者の在住地域の変化（入館者の個々の住所は分からないため、案内希望者の在住地域から推察）

平成17年度の放鳥までは県外からの入館者の案内希望が占める割合は40%未満であったが、平成18年度以降は60%を超えている。概ね入館者割合も同様の傾向にあると考えている。

また、県外の内、近畿圏外の案内希望者は、年々増加している。

〔単位：件〕

年度	県内							県外			不明	計	月平均
	但馬	丹波	神戸	阪神	播磨	淡路	小計	近畿	近畿外	小計			
15	71	48	112	101	194	22	548	179	120	299	38	885	74
16	72	31	103	50	206	23	485	131	110	241	16	742	62
17	107	56	139	110	285	38	735	267	227	494	56	1,285	107
18	157	65	252	189	494	67	1,224	1,163	774	1,937	52	3,213	268
19	118	45	189	192	414	43	1,001	1,029	1,024	2,053	32	3,086	257
20	41	15	37	28	101	5	227	198	338	536	6	769	192

平成20年度は7月末まで。例年、秋に向かって案内希望は増加

2. 視察・取材等の増加

(1) 申込数の増加

視察・取材は平成19年度から急増しており、海外からの視察・取材も増えている。

年度	件数		うち海外	摘要
		月平均		
18	37	3.1	2	国内は行政・議会・農業団体等の視察が多く、海外からの来訪者は中国・韓国からの研究者・学生が主である。
19	124	10.3	12	
20	57	14.2	5	

平成20年度は7月末まで

(2) 内容の変化

視察・取材は、当初コウノトリの保護増殖関連が主であったが、近年はコウノトリを育む農業や環境と経済の共鳴施策など、人と自然の共生に向けての本市の取組みが主になっている。

〔参考〕コウノトリ文化館入館者数

H15年度 164,274人 H16年度 124,878人

H17年度 242,102人 H18年度 487,633人

H19年度 455,373人 H20年度(7月末まで) 138,353人

コウノトリ文化館入館者数H19年度・20年度の月別比較

年度	月	入館者(人)	前年比	年度	月	入館者(人)	前年比
19	4	26,281	1.07	20	4	30,030	1.14
	5	35,588	1.09		5	39,985	1.12
	6	37,548	1.11		6	32,046	0.85
	7	31,500	0.87		7	36,292	1.15
	小計	130,917	1.04		小計	138,353	1.06
	8	45,685	0.95		8		
	9	41,001	0.81		9		
	10	41,318	0.66		10		
	11	52,827	0.95		11		
	12	34,264	1.01		12		
	1	29,238	0.80		1		
	2	34,815	1.01		2		
	3	45,308	1.26		3		
	計	455,373			計		

50万人：H15.10.23（H12.6.3開館から3年4ヶ月で達成）

100万人：H18.6.9（50万人から2年8ヶ月で達成）

150万人：H19.6.15（100万人から1年で達成）

200万人：H20.7.17（150万人から1年1ヶ月で達成）

3. コウノトリ環境協力金実績（7月末）

コウノトリ文化館入館者に平成20年4月からコウノトリ環境協力金への協力をお願いしている。昨年まではコウノトリ基金募金箱を館内に設置していただけであった。

H19年度		H20年度		
月	金額(円)	月	金額(円)	対前年比
4	361,907	4	1,093,685	3.02
5	196,000	5	1,352,064	6.90
6	271,000	6	1,047,925	3.87
7	209,633	7	998,136	4.76
計	1,038,540	計	4,491,810	4.33